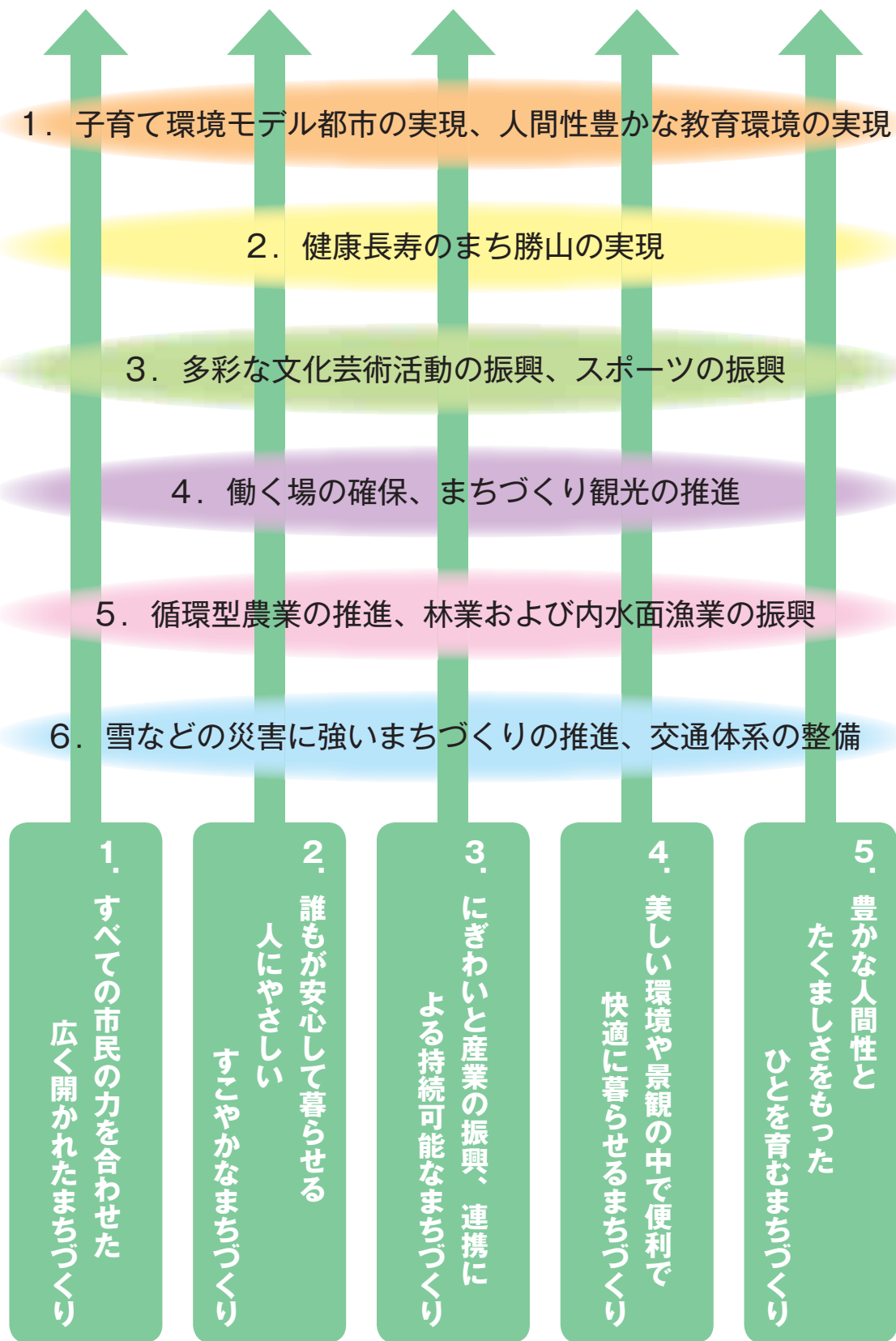


ふるさとルネッサンスの実現 — 勝山の再生 —



エコミュージアムによるまちづくり

まちづくりを進める
6つの視点を
とらえた政策を推進

1. すべての市民の力を合わせた 広く開かれたまちづくり

まちづくりの推進には、市民の主体的で幅広い活動を促進することが重要です。財源や人材を効率的に活用し、透明性の高い行財政運営を進める中で、市民と行政の役割分担を明確にし、全ての市民が行政運営に参画しやすい体制と、自主的かつ主体的な市民力によるまちづくりを進めます。

2. 誰もが安心して暮らせる 人にやさしいすこやかなまちづくり

少子高齢化が進む社会の中で、全ての市民がいつまでもいきいきと安全で安心して暮らすためには、市民の生命、財産を守る体制や、住む人にやさしい生活環境を整備する必要があります。次世代を担う子どもを安心して産み育てることができ、高齢者や障がいのある人をはじめ、誰もが住み続けたい健康長寿のまちづくりを進めます。

3. にぎわいと産業の振興、連携による 持続可能なまちづくり

産業の振興は、地域経済の活性化に直結し、産業が生み出す安定した雇用が市民の生活環境の向上につながります。基盤産業である農林水産業の仕組みを循環型として整え、時代に応じた商工業への支援、多様な観光資源や地域資源の利活用を図り、農商工が連携した観光産業の振興により、持続可能なまちづくりを進めます。

4. 美しい環境や景観の中で 便利で快適に暮らせるまちづくり

恵まれた自然環境や眺望景観は、先人から受け継いできた大切な遺産です。エコミュージアムで培った地域資源の保全、活用を図るとともに、市民、事業者、行政が協働してエコ環境都市を目指すことで、自然と共生し、人が住むための文化的な生活環境を整備し、住みやすく雪などの災害に強い人にやさしいまちづくりを進めます。

5. 豊かな人間性と たくましさをもったひとを育むまちづくり

心豊かでたくましく人生を送るためには、自ら課題を見つけ、挑戦し、道を切り開く資質や能力が求められています。家庭、地域、学校が一体となって次世代を担う人材育成に取り組むとともに、生涯にわたる文化・スポーツ活動の振興を図り、ふるさとを愛し、人間性豊かな人を育むまちづくりを進めます。

勝山市が「まちの将来像」の実現に向けて新たに取り組んでいく施策および、これまで取り組んできた施策や重点事業を、行政分野別に5つに分類、整理しました。
「まちづくりを進める6つの視点」を常にとらえながら、それぞれの政策目標の実現に向けた施策を推進していきます。

まちづくりの政策体系